

令和2年 網走市議会
平成31年度各会計決算審査特別委員会会議録
第5号 令和2年9月17日（木曜日）

○日時 令和2年9月17日 午前10時00分開会

○場所 議 場

○議件

1. 認定第1号 平成31年度網走市各会計歳入歳出決算について
2. 認定第2号 平成31年度網走市水道事業会計の利益の処分及び決算について

○出席委員（13名）

委 員 長	立 崎 聡 一
副 委 員 長	山 田 庫司郎
委 員	石 垣 直 樹
	小田部 照
	川原田 英 世
	工 藤 英 治
	近 藤 憲 治
	澤 谷 淳 子
	永 本 浩 子
	平 賀 貴 幸
	古 田 純 也
	松 浦 敏 司
	村 椿 敏 章

○欠席委員（1名）

栗 田 政 男

○委員外議員（0名）

○事務局職員

事 務 局 長	武 田 浩 一
事 務 局 次 長	伊 倉 直 樹
総務議事係長	神 谷 浩 一
総務議事係主査	寺 尾 昌 樹
係	早 渕 由 樹

午前10時00分開会

○立崎聡一委員長 おはようございます。

本日の出席委員は13名で、定足数に達しておりますので、ただいまから平成31年度各会計決算審査特別委員会を開会します。

本日の委員会には、次の委員から欠席の届出がありましたので報告します。

欠席、栗田政男委員。

本日の審査日程は、認定第1号平成31年度網走市各会計歳入歳出決算について及び認定第2号平成31年度網走市水道事業会計の利益の処分及び決算についての取りまとめを行います。

初めに、認定第1号について、各委員から賛否、認定、不認定と総括的な意見について発言していただきます。

なお、前年度は1項目めの附帯意見に対して結審いたしました。この附帯意見を付すか否かについても併せて御発言願います。

○澤谷淳子委員 おはようございます。

認定第1号について、附帯意見を付さないで認定いたします。

一般会計では、早速2月3月のコロナの影響を受けたものがあつたり、せっかく制度があつても実績が少なかった、利用が全くなかった、それと予算の見立てよりも支払う報酬が少なかったなど、決算額が小さくなった事業が幾つかありました。しかし、既に取組の工夫などを行っていたり、やはりやってみないとわからないこともありますので、今後も市民サービスの向上と、やはり周知の徹底に工夫を重ねていってほしいと思いました。

特別会計では、いよいよ能取漁港の平成10年度は56億円あつた巨額の赤字が平成31年度は2億円を切るまでになり、特別会計を閉鎖する検討に入っているとまで言っていましたので、終了が現実のものと見えてまいりましたので非常に高く評価しています。

以上です。

○立崎聡一委員長 次。

○古田純也委員 平成31年度網走市各会計歳入決算について、私も附帯意見なしで承認したいと思います。

一般会計では、実質収支8,146万2,000円の黒字決算、特別会計では、単年度収支で見ると1億32万3,000円の増、網走港、能取漁港整備特別会計も確実に累積赤字が減少していると、財政改革の取組も一定の評価をいたします。

よって、附帯意見なしで承認いたします。

○立崎聡一委員長 次。

○川原田英世委員 民主市民ネットとして発言をさせていただきたいと思います。

認定第1号平成31年度網走市各会計決算については附帯意見なしで認定したいというふうに考えています。

課題はたくさんあるということ、それもいろいろ議論しました。継続的な課題がたくさんあるということで、ある程度の大きな課題については共有の認識ができたというふうに考えています。これを引き続き取り組んでいくということを確認できましたので、そういった形で認定をしたいというふうに思います。

○立崎聡一委員長 次。

○永本浩子委員 認定第1号平成31年度網走市各会計歳入歳出決算については、附帯意見をつけずに認定したいと思います。

一般会計の決算額は歳入が231億1,692万3,000円、歳出は229億6,058万1,000円で、翌年度へ繰り越すべき財源が7,488万1,000円のため実質収支額は8,146万2,000円の黒字決算となりました。

予算現額に対する執行率は前年の95.0%から75.9%となり、本年1月に発生した新型コロナウイルスの影響が大きいものと思われます。しかし、基幹病院における脳神経外科の開設と開業医誘致推進事業による2名の開業医の獲得は、市民の命と健康を守る大変大きな成果であり大いに評価したいと思っております。そしてそれを可能にしたのは、ふるさと納税の基金のおかげと言っても過言ではないと思います。

また、経常収支比率が98.4%と2%増になった前年よりさらに1%上がり、実質公債費比率も17.4%と前年比0.2%増となりましたが、過去の借金返済のピークであり、ここを超えると返済がぐっと楽になるという先行きが見えておりますので、引き続き堅実な財政運営をお願いしたいと思います。

特別会計の決算額は、九つの会計の歳入合計で101億6,906万3,000円、歳出合計は112億7,998万3,000円で、実質収支は11億1,091万9,000円の赤字決算となりました。

しかし、能取工業団地においては前年の売却地がゼロでしたが、31年度は2件の売却があり、平成10年には56億円もあった借金が2億円を切るところまで来たことは高く評価したいと思います。

網走新港では3年連続売却ゼロという厳しい結果となりましたが、売却が決まりそうな事案もあ

り、バイオマス発電や風力発電からの要望も来ているという希望も見えてきました。今後とも赤字削減に向けたさらなる努力をお願いしたいと思います。

今後コロナの影響は観光や飲食業のみならず、あらゆる分野に出てくるものと思われます。市税の減収等厳しい財政運営は避けられないものと思いますが、当市にとってはコロナがチャンスに変わる可能性も見えてきております。当市の経済の根幹ともいえる農業漁業のさらなる発展とともに、コロナに負けずピンチをチャンスに変える知恵と工夫でこの難局を乗り越え、網走の明るい未来を切り開いていただきたいと思います。

以上です。

○立崎聡一委員長 次。

○小田部照委員 平成31年度決算については、決算書のとおり一般会計では執行率75.9%の決算となっております。実質収支では8,100万円の黒字決算となっております。9特別会計では執行率94.7%で実質収支では11億1,000万円の赤字決算となっております。

これはおおむね妥当な数字だとは思いますが、しかしながらこのことは年々市民負担の増大傾向を示しているものだと思います。市税ほか歳入確保のため、ますますの努力と工夫が必要になってくるものだと考えます。

人口減少及び少子高齢化時代にあって、網走市の財政健全化は当市の最大の課題だと認識しているところであります。行財政改革のさらなる推進に力を入れ、市民の満足度を高めていくことに一層の努力をしていただくことを期待いたしまして、平成31年度一般会計及び9特別会計について附帯意見を付さずに承認したいと思います。

○立崎聡一委員長 次。

○石垣直樹委員 今回、平成31年度一般会計そして特別会計を審査させていただきました。

一般会計につきましては、経常収支比率は98.4%と昨年度そして過去から比べると悪くはなっておりますが、将来に対する将来負担比率を見ましても100%台というところで見通しが立ってきているというふうに認識しております。

特別会計におきましては、堅実な財政運営のものと確実によくなっているという認識でございます。

全てにおきまして、引き続き財政収支の改善に向けた堅実な財政運営が必要ではございますが、

本会計におきましては附帯意見を付さずに賛成といたします。

○立崎聡一委員長 次。

○松浦敏司委員 私は日本共産党議員団としての態度を表明したいというふうに思います。

認定第1号一般会計についてでありますけれども、一定の評価をすべき事業も幾つか見られるというふうに思います。しかし、財政状況というのは依然として厳しい状況にあると。経常収支比率では98.4%、減債補填債あるいは臨時財政対策債等を除くと102.5%となっています。また公債費も過去の大型公共投資というような影響もあって、26.8と依然として高い数字になります。

単年度収支ではプラス4,704万円と、実質単年度収支もプラス1億4,871万円ということですが、これは少雪だったために除雪費が少なかったということも影響しているのかなというふうにも思います。

総体的に判断して、認定第1号一般会計については認定できないということであります。

次に特別会計についてであります。市有財産整備特別会計は、市が分譲した土地、そこにおける地盤沈下という問題であります。これまでずさんな土地分譲によって起きた地盤沈下であります。が、被害に遭った住民に移転補償など一定の丁寧な対策を講じてきたことで、指定区域ではAランク2戸、要観察地域ではゼロと、隣接地域でBランクが1戸、潮見7丁目ではゼロというふうな形になり、一定の方向も見えてきたということの評価して認定いたします。

能取漁港整備特別会計についてであります。最高時は56億円を超える赤字でありましたけれども、国の制度も活用しながら、また市の一般会計からの繰入れも毎年行い、この間26億5,000万円を投入し、赤字は現在1億9,000万円台に減少しました。これは市民の皆さんの温かい理解があったことであり、このことについて市民の皆さんにもお礼を申し上げたいというふうにも考えます。同時に理事者の皆さんと担当者職員の皆さんにも感謝しなければならないと、こんなふうにも感じます。遠くない時期にこの会計も解消されることも想像されます。これまで筋を通して反対してきた会計であります。今回から認定することといたします。

国民健康保険について、収納率が現年度0.25ポイント上昇しました。滞納分が1.83ポイント下が

りましたがほぼ横ばいです。しかし、短期証292件、資格証明証30件の発行ということで、これも命に係る大変な問題を抱えているもので認定できません。

網走港整備特別会計についてですが、まだ10億円を超える赤字があるということで、土地が売れなければこの問題は解決しないという点で、非常に問題があるというふうに考えますので認定できません。

介護保険特別会計についてであります。保険に加入している人たちの負担が重くのしかかっている問題や、あるいは低所得者が十分な認定を受けても使うことができない状況があるという問題があります。保険あって介護なしでは保険とは言えませんので認定できません。

最後に、後期高齢者医療特別会計についてです。

そもそも75歳以上の高齢者を囲い込んで、それだけで保険をつくるなどということは世界でもまれな制度であって、一度はなくす方向でありましたけれども、いまだ続いていることでありまして、これは認定できないということであります。

以上です。

○立崎聡一委員長 次。

○工藤英治委員 私からは31年度各会計決算一般会計、特別会計ともに、附帯意見なしで可とさせていただきます。以上。

○立崎聡一委員長 次。

○近藤憲治委員 私からも認定第1号につきましては、附帯意見を付すことなく認定すべきものということで発言をさせていただきます。以上です。

○立崎聡一委員長

(108字取り消し)

それでは、ここで確認させていただきます。

川原田委員の意見は、会派としての意見ということでよろしかったですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

松浦委員に確認します。

松浦委員の御意見も、共産党議員団ということで、意見でよろしかったですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

次に、認定第2号について、各委員から賛否、認定、不認定と総括的な意見について発言していただきます。

なお、水道決算につきましては、前年度は附帯意見をつけることなく結審をいたしました。この附帯意見を付すか否かについても併せて御発言願います。

○古田純也委員 認定第2号平成31年度網走市水道会計について、人口減少に伴う給水収益の減少、また導水管の更新等今後も課題はありますが、15年連続の黒字決算は安定的な経営が持続していると言えます。よって、附帯意見をつけずに認定いたします。

○立崎聡一委員長 次。

○澤谷淳子委員 認定第2号について、附帯意見を付さないで認定いたします。

やはり人口減少の心配と導水管の更新のお金がかかりますので心配がありますが、この安定した経営にまた頑張っていただきたいと思います。

以上です。

○立崎聡一委員長 次。

○川原田英世委員 こちらについても会派民主市民ネットとして発言をさせていただきます。

認定第2号網走市水道事業会計について、附帯意見を付さずに認定とさせていただきます。

経年経過による様々な老朽化があるものの国の事業支援をうまく使いながら対応を進めているということで、将来への方向性も安心して見れているのかなというふうに考えておりますので、そのようにしたいというふうに思います。

○立崎聡一委員長 次。

○小田部照委員 認定第2号水道事業会計については、老朽化した導水管の布設替えなど多額の費用を要する課題はありますが、国の財政制度を有効に活用し、現料金体制を1年でも長く維持しようとする工夫と努力が見られるところであります。

よって、附帯意見を付さずに承認したいと思います。

○立崎聡一委員長 次。

○石垣直樹委員 認定第2号に関しましては、網走市の水道料金は高いという声も聞こえてきておりますが、附帯意見を付さずに賛成いたします。

○立崎聡一委員長 次。

○永本浩子委員 認定第2号平成31年度網走市水道事業会計につきましては、附帯意見をつけずに認定したいと思います。

給水人口が対前年比522人の減、給水戸数は100戸も減になる中、水道事業決算については前年比786万4,000円増の1億6,322円、7,000円の純利益となり、15年連続の黒字決算となったことは大いに評価すべきものと思います。

しかしながら、給水戸数が1年で100戸も減ったことは、今後の人口減少を痛切に感じざるを得ない大きな衝撃でありました。さらに老朽化した導水管や水道施設の工事や維持管理等にも多額の経費が見込まれており、中長期的な更新計画と財政の見通しに立った計画的な事業運営をお願いしたいと思います。

水道は人間が健康で快適な生活を営む上で欠かすことのできない大切なライフラインであります。今後とも国の補助金等を大いに活用し、網走の市民の皆様が安全でおいしい網走の水を安心して飲み続けられるよう努めていただきたいと思います。

また、近年異常気象による災害が各地で起こっております。こうした災害等に備えた整備や危機管理にもより一層力を入れていていただきたいと思います。

以上です。

○立崎聡一委員長 次。

○近藤憲治委員 認定第2号につきましても、附帯意見を付すことなく認定すべきものと考えております。以上です。

○立崎聡一委員長 次。

○松浦敏司委員 認定第2号について、日本共産党議員団として表明したいと思います。

皆さんからお話がありましたように給水人口、世帯が減っているというのは非常に今後不安の材料ではありますが、そういう中であって黒字決算が続いているという点は評価しなければならないというふうに思います。

そして、長年望んでいた導水管の国の補助というのがやっと受けられることになったという点で、これから導水管敷設替えができていないところはこれから行うわけですが、相当な金額が、50億円を超える金額があると。しかしそこに国の補助がつくということでもありますから、そういう点では明るい見通しもできているなというふうに思います。そのようなことで、一定の不安は

あるにしても黒字決算ということでありまして、その点を評価し、附帯意見をつけずに認定したいと思います。

○立崎聡一委員長 次。

○工藤英治委員 水道決算につきましては、附帯意見なしで可とさせていただきます。

それから、追加の発言をさせていただきますが、欠席者の可否の委員長朗読は認められないので削除を求めたいと思いますが。

○立崎聡一委員長 ただいま工藤委員のほうから指摘がありましたので、先ほどの意見は削除させていただきます。

それでは確認させていただきます。

川原田委員の意見につきましては、民主市民ネット会派の意見ということで、山田委員、平賀委員に関しても同様の御意見ということで処理させてよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

それから、松浦委員におかれましては、日本共産党議員団ということで御発言があったので、そのように処理させてよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

それでは、各委員の賛否について発言を終了いたします。

ここで暫時休憩いたします。

午前10時24分休憩

午前10時59分再開

○立崎聡一委員長 休憩前に引き続き、再開します。

先ほど各委員から、認定第1号及び認定第2号について賛否、認定、不認定と総括的な御意見を頂きました。

ここで、お諮りします。

まず、認定第1号平成31年度網走市各会計歳入歳出決算については、大方の委員の意見として原案認定すべきものということで取りまとめをさせていただきたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議ありませんので、認定第1号は大方の委員の意見として原案認定すべきものと決定しました。

あわせて認定第1号平成31年度網走市各会計歳入歳出決算については、附帯意見を付さないということで取りまとめをさせていただきたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議ありませんので、認定第1号は附帯意見を付さないことに決定しました。

次に、認定第2号平成31年度網走市水道事業会計の利益の処分及び決算については、委員全員の意見として附帯意見を付すことなく原案可決及び認定すべきものということで取りまとめをさせていただきたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議ありませんので、認定第2号は全委員の意見として附帯意見を付すことなく原案可決及び認定すべきものと決定しました。

以上で、本委員会に付託された案件の審査は全て終了しましたが、これをもって本特別委員会を閉会することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ここで、私から一言御挨拶を申し上げます。

去る9月1日、平成31年度各会計決算審査特別委員会が開設され、私が委員長に、山田庫司郎委員が副委員長に選任されました。延べ4日間にわたり審査を頂いたわけでありますが、その間、各委員におかれましては大変熱心に審査をしていただきましたことに心からお礼を申し上げます。

それでは、以上、平成31年度各会計決算審査特別委員会を閉会いたします。

大変お疲れさまでした。

午前11時01分閉会